



馬の学校

馬の学校通信

2011. 3 vol.41

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 愛知県名古屋市中天白区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX:052-805-2920

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : <http://www.horseschool.org>



春のプログラム 参加者募集！！

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日程：4月24日(日)午前10～12時 服部緑地乗馬センター
5月21日(土)午前10～12時 服部緑地乗馬センター
6月11日(土)午前10～12時 服部緑地乗馬センター

＊原則として保護者同伴

対象：小学1年生～高校3年生 (各回定員4名)

参加費：1人 ¥8,000 (現地集合・解散) / 1回

ファミリープログラム (日帰り)

日程：4月23日(土)

ホーストレッキングわち

対象：幼・小・中・高校生のお子さんとそのご家族 (定員3家族)

参加費：1家族 ¥15,000 (現地集合・解散) / 1回

別途 食費 1人 ¥500

★お申し込みは、会員の方は3月17日(木)から、一般の方は19日(土)から、電話、FAX(052-805-2920)、メールにて事務局まで! (留守電の場合は、お名前と希望プログラムをお伝え下さい。折り返し、こちらからお電話いたします。)

＊3月24日～27日は不在のため、折り返し・確認のお電話、メールのお返事は28日以降になりますので、ご了承ください。

★ふれあいプログラムにつきましては、回数制限はございません。何回でもご参加ください!

2011 年度会費納入のお願い

2011 年度会費につきましては、同封の振替用紙にて下記の通りお願いいたします。(いずれかをお選び下さい) ＊春のプログラムに参加申し込みされる方は、参加費とご一緒のお振り込みで結構です。

<子ども会員・家族会員>

プログラムに参加される方・通信の発送を希望される方
年会費 1000円

<賛助会員>

馬の学校を応援して下さる方

(プログラム参加・通信の発送も含まれます)

賛助年会費 3000円～

会費を振り込まれた方には、次回通信と一緒に会員証をお送りします。

＊会員特典：優先申し込み/特製シールと年末にはカレンダーをプレゼント!

＊住所変更をされた方、退会を希望される方は、お手数ですが事務局までお知らせください。

事務局移転のお知らせ

事務局が山梨県上野原市から愛知県名古屋市に移転いたしました。

〒468-0007

愛知県名古屋市中天白区植田本町 3-1105-302

Tel/Fax : 052-805-2920

＊HP・メールアドレスは変更ありません＊

移転作業のため、3月のプログラムは実施いたしません。4月以降は通常通り大阪・京都・山梨でプログラムを行ってまいります。

「馬の学校活動報告」ブログ 更新中

少しずつですが、ブログを更新中です。通信には載せきれない活動報告や、馬のこと、教育のことなどを綴っています。ぜひ一度ご覧ください。 <http://ameblo.jp/horseschool/>



馬の品種② ハフリンガー

オーストリア、ドイツ・バイエルン地方^{ちほうげんさん}原産の馬で、^{さんかくちたい}山岳地帯での作業に適した^{たいけい}体型をしています。^{くりげ}栗毛の体と、白いたてがみ・尻尾がトレードマークです。(ミルキーを見ればわかりますね)とても丈夫で、^{じゅみょう}寿命も長いと言われており、山での^{さきこう}作業や馬車から^{じょうば}乗馬まで、^{はびろ}幅広く活躍しています。

ドイツはさすが^{ほんば}本場、ハフリンガーだけの^{ぼくじょう}牧場があったり(100頭近くいました!)、子どもたちの^{じょうば}乗馬に使われていることが多いようです。



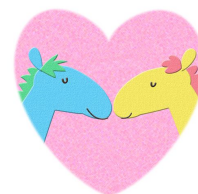
おすすめの本

『つなげよう』 田中康雄 著 金剛出版
発達障害のある子どもたちとともに私たちができること

田中先生は児童精神科医で、北海道大学の教授をされています。発達障害のある子どもたちの気持ちにそっと寄り添いつつ、いかに学校の先生や保護者とつながりあって支援していけばよいのか、たくさんの事例の中から得られたことが書かれています。「私は、人は必ずつながりあえることを信じていたい。」難しいことを理解したうえで信じるのが、大切な第一歩なのかもしれません。



Let me teach you by Willis Lamm(藤田りか子 訳)



緊張しているの？

それじゃ、肩の力の抜き方を教えてあげるよ

短気なの？

それじゃ、根気というものを教えてあげるよ

今さえよければいいの？

それじゃ、長い目でじっくり取り組むこと、教えてあげるよ

すぐに行動に出してしまうんだって？

それじゃ、考えてから行動するよう教えてあげる

怒っているの？

それじゃ、穏やかな気持ちというものを教えてあげる

自分より偉いものはないって？

それじゃ、尊敬という気持ちを教えてあげよう

自分の殻に閉じこもっているの？

それじゃ、この世に存在する楽しいことを教えてあげよう

気位が高いんだって？

それじゃ、謙虚という気持ちを教えてあげよう

さびしいの？

それじゃ、僕がいっしょについていてあげるよ

疲れたの？

それじゃ、僕が君の荷物をしょってあげるよ

もっといろんなことを知りたいんだって？

それじゃ、僕が教えてあげるよ

なんととっても僕は君の友達、馬だから

乗馬ライフ増刊号「ばから」(2005年6月号)

編集後記 少しずつ春の気配が感じられるようになってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。3月は事務局移転のためにプログラムが実施できず、申し訳ございません。引っ越しを機に、今流行りの「断捨離」を試みて、ずいぶんたくさんものを捨てました。おかげで、荷物だけでなく心も少し軽くなったような気がします。今後何かを買いたいと思った時、この代わりに捨てられるものがあるか、と考えると、モノが増えなくていいのかもしれません。(といっても、馬グッズだけはつつい買ってしまいそうですが…)

今年の馬の学校のテーマは「コラボ」。馬や教育以外にも、いろいろな専門性とコラボすれば(つながりあえば)、新しいものが見えてくるはず！と考えています。自分自身の専門性を高めつつ、新しい出逢いを求めて、新たな道への一歩を踏み出したいと思います。

(峯崎 友香理)